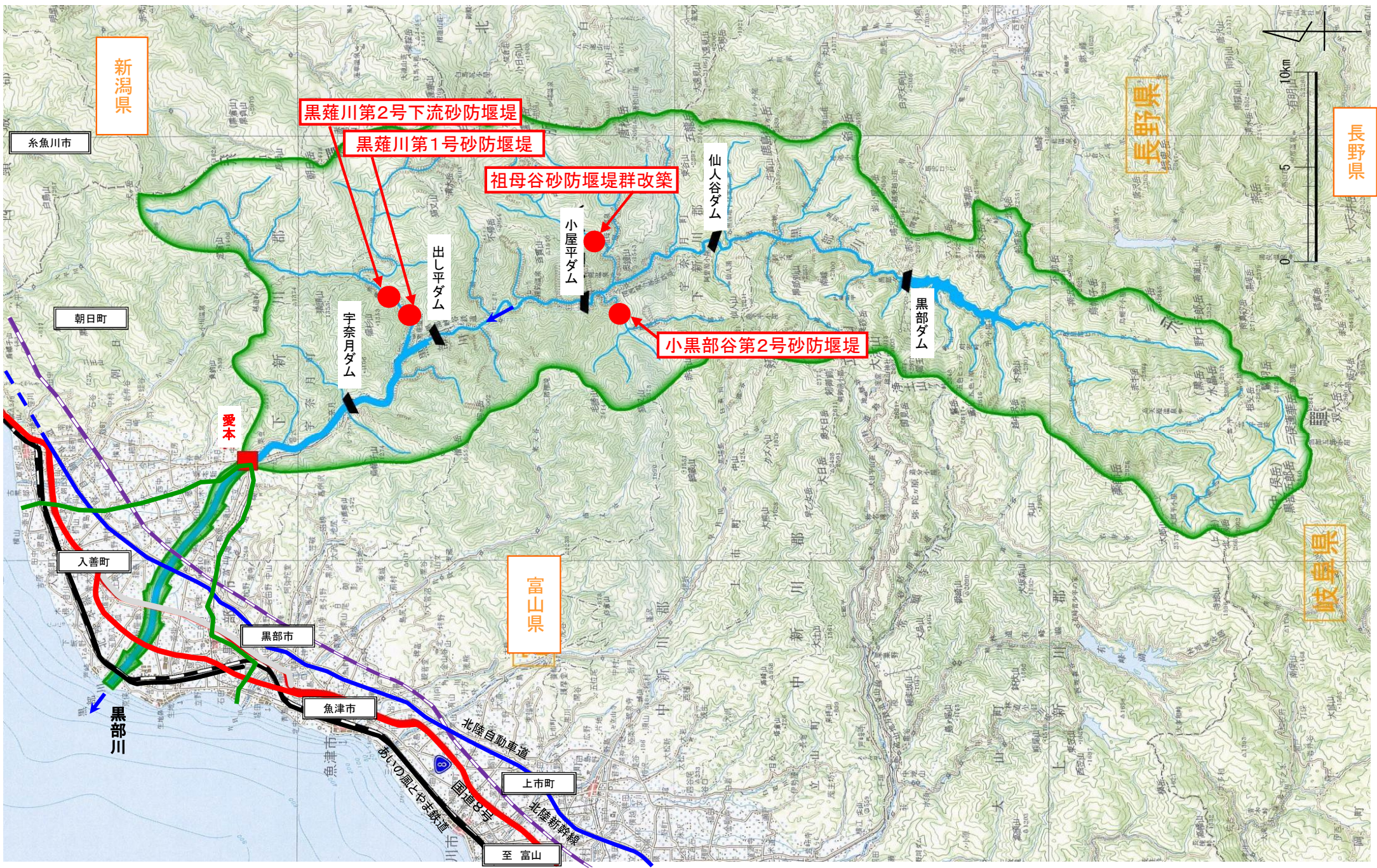


令和8年度の黒部河川事務所の事業





黒部川水系直轄砂防事業

■砂防事業の特徴

- 上流域の地形は急峻で運搬路がないため、資機材等の運搬は黒部峡谷鉄道又はヘリコプターに限定。
- 黒部峡谷鉄道の運行期間のみの施工となることから、施工時期が限定される。
- 事業の区域はほとんどが中部山岳国立公園に位置し、施工の際には環境への配慮が不可欠。



唯一の輸送手段である黒部峡谷鉄道による機材・資材等の分解輸送

■事業効果

- 砂防堰堤工の整備により、黒部川水系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である黒部川沿川の観光・発電施設や、黒部市をはじめとした沿川地域の安全と安心を確保します。

■事業概要（令和8年度事業箇所）

- 黒薙川砂防堰堤群
 - ①黒薙川第2号下流砂防堰堤
【本体コンクリート打設】
【コンクリート副堰堤工】
 - ②黒薙川第1号砂防堰堤改築
【仮設工】

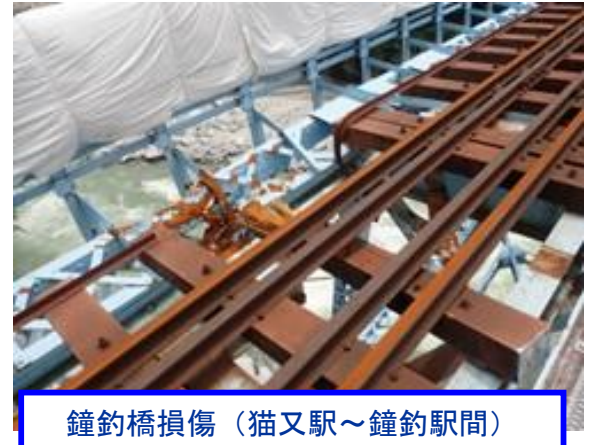


(完成予想図)

- 祖母谷流域
 - ④祖母谷砂防堰堤群改築
工事影響あり→【仮設工】



能登半島地震の影響で、黒部峡谷鉄道は全線開通できない状況が継続しており、小黑部谷及び祖母谷流域での施工に影響が出ています。本格的な工事再開に備えるため、長野県大町市周りで現地にアクセスし、仮設工事を推進します。



鐘釣橋損傷（猫又駅～鐘釣駅間）

- 小黑部谷流域
 - ③小黑部谷第2号砂防堰堤
工事影響あり→【仮設工】



(完成予想図)